

滋賀県道路整備アクションプログラム  
地域別アクションプログラム（高島地域）第2回地域ワーキング

議 事 概 要

日 時：令和4年9月16日（金） 14時00分～16時00分

場 所：高島合同庁舎2階 2-A会議室

出席者：饗庭 正昭 委員（公募委員）

今村 忠彦 委員（座長）（NPO法人SMSA持続可能管理協会びわこ 理事長）

小崎 富美子委員（高島交通安全協会 副会長）

福田 久司 委員（高島市商工会 会長）

藤田 幸典 委員（高島警察署 交通課長）

前川 為夫 委員（びわ湖高島観光協会 会長）

松本 美和子委員（介護保険認定審査委員 介護保険事業計画等策定委員会委員）

柳生 徹 委員（高島市 都市整備部部長）

（五十音順）

1. 開会挨拶

2. 地域ワーキング

（1）座長挨拶

- ・今村座長が挨拶を行った。

（2）第1回地域ワーキングの内容の確認

- ・事務局より第1回地域ワーキングの内容について説明を行った。

（3）資料説明「第2回地域ワーキング」

- ・事務局より第2回地域ワーキングについて説明を行った。

（4）意見等 自由討議

○各委員からの主な意見等については以下のとおりである。

【地域の声について】

●地域の魅力や活力を高めるための道づくり（地域内の移動を円滑化する道路網整備）

- ・メタセコイア並木などへの観光客は多いが、渋滞している。もう1本しっかりした、トラックが通行できるような道を確保してほしい。通勤で高島に来ている人もいるが、2時間待って回避して帰っている人もいる。早く解消してほしい。
- ・北陸とつなぐ道路が必要だと思う。

- ・小松のところで渋滞がある。そこを通らないと出られない状況があるので、抜け道を作ってもらいたい。

●大規模災害を考慮した広域連携を支える道路網の構築

- ・南に行くには 161 号線しかない。高島市で災害が発生すると、逃げるために 161 号線に集中し、大渋滞で避難できなくなることが懸念される。国道 161 号以外の道路整備も必要だと思う。新しい道路の整備は大変だと思うので、367 号の拡幅などの整備が必要ではないか。
- ・緊急時や救急患者の一次救急は高島市民病院に集中する。市の端にあるので、そこまでの道について、緊急車両がスムーズに通れるような道幅の確保をしてもらいたい。
- ・緊急道路の確保が一番大事だと思う。8月の自衛隊フェスタでは南北に渋滞していた。災害はいつどこで起きるか分からない。南も北も緊急道路の確保が一番大事だと思う。
- ・緊急道路について市でも道路の確保を考えなくてはいけないが、県との連携もお願いしたい。

●安全・安心で魅力的な歩行空間の確保

- ・細かく道路をつくると不要な事故が起こる可能性もある。まちづくりが先か、道路整備が先か。まちができてから道路ができるから、道路が曲がったり、広くなったり狭くなっていたりで安心して通れない。
- ・湖周道路など、草が繁茂して見えない箇所があるので、草刈りなどを早くしてもらえると幅広く道路を使えるのではないか。
- ・歩道の整備については、すべて道路改良できるわけではない。特に、冬季には除雪で歩道に雪を置くので、歩道整備は課題となっている。通学路の除雪は今後の課題だと思う。

●住民が主体となった行政と連携・協働による道づくり

- ・昔は、自分の家の前の道路は「我が道」として、草刈りなども各自が実施していた。愛着を持てるような施策、PRできないか。
- ・湖周道路は県で清掃してもらっているが、まちなかの道路の草の繁茂やゴミなどが目に付く。何か方策ができればと思う。

【その他について】

- ・空飛ぶ自動車も間近だと思う。道路の広いところや緊急用のヘリポートを作ると、その基地にもなる。道路の拡幅はお金がかかると思うが、空き地をステーションとして設けることも必要だと思う。観光面でも活用できるので、どの県よりも早く検討してもらいたい。